



「かいけつゾロリ」世界新記録

朝から交通指導に立っていると、来年度入学予定の男の子が、お母さんの自転車の後ろに乗って登園していきます。その子はいつもお決まりの本を読んでいます。その本のタイトルは「かいけつゾロリ」です。この人気の児童書「かいけつゾロリ」シリーズは、同じ作者によって物語とイラストの両方が描かれた児童書シリーズで最も多い巻数として「ギネス世界記録」に認定されたそうです（10月24日）。「かいけつゾロリ」は、1987年に1巻が発売され、シリーズ全体の部数は合計3500万部を超えているそうです。7月に71巻が発売され、にギネスに認定されました。熊本出身でもある作者の原さんは、「自分が子供の頃に、こういう本が読みたいと思って書き始めました。大人の立場ではなく子供の立場で、友達に書いてあげたいと思いました。私みたいな小学生が日本全国にたくさんいて、支えてくれたと思います。」と喜びの言葉を述べています。「かいけつゾロリ」の他、たくさん本が図書室にはあります。まずは、図書の本に触れ、ゆっくり本を読みたいものですね。



日本の23年度予算案の一考察

政府の2023年度の収入、支出をまとめた当初予算案はご存じですか？昨年末の12月23日に示されました。総額は114兆3812億円です。そんなお金は見たこともないので、ピンときませんね。これをキシダ家という一般的な家庭に置き換えてみましょう。キシダ家の23年度の収入を、本当の予算額の1000万分の1と仮定すると、787万円となります。ここから、支出を考えていくと、祖父母の病院代（社会保障費）が368万円、自宅の警備費（防衛費）が67万円。他にも家の修理費（公共事業費）50万円や教育費（文教・科学振興費）が53万円、地方に住む家族への仕送り（地方交付税交付金）が164万円となります。さらにこれまでの借金返済（国債費）に252万円を回さなければなりません。そして、いろんな支出を合計すると、収入をはるかに超える1143万円となりそうです。足りない分はまた借金（新規国債発行）を350万円して賄います。そして、キシダ家の借金の総額（公債残高）は、23年度末には1億円超になるそうです。何だか背中に寒風が吹く感じがします。島国である日本の最大の資源は、「人」であり、明るい未来は「人づくり」にかかっているとんでもない過言ではないと思います。来週から通常国会で、来年度予算の説明が始まります。説明を注意深く聞くことも家族の中の一人としての義務だと思います。願わくば、もう少し教育費にお金をかけ、日本の未来を創り出す子供たちに力を付け、未来に還元し、ツケを回さぬ努力をする必要があると考えさせられました。

